

令和7年度〔自己評価報告書〕

学校番号	学校名	校長名
7	川崎市立京町中学校	後藤 建人

学校教育目標	今年度の重点目標
<p>○けじめある生活習慣・態度を身につけよう。 ○心身を鍛え、心と知を互いに磨き合おう。 ○能力・適性を見つめて、よりよく伸ばそう。 ○豊かな情操を育て、思いやる心を育てよう</p>	<p>○学習意欲の向上○基礎的基本的な学力の定着○言語活動の充実○主体的に取り組む授業の工夫・改善○特別支援教育体制の充実○言語環境の構築○生徒会活動の活性化○教育相談の充実○道徳教育の推進○不登校対策と支援○共生共育の推進○基本的な生活習慣の確立○健康教育の推進○食育の推進○学習環境の整備○安全教育の実践○防災教育の推進○家庭・地域への適切な情報の発信○地域社会との連携○小中連携の推進○学校評価システムの確立</p>

評価項目	具体的な取組	成果と課題	具体的な改善策
1	<p>基礎的基本的な学力の定着</p> <p>○キャリア在り方生き方教育の推進 ○学習規律の確立 ○わかる授業の実践 ○主体的・対話的で深い学びの推進 ○校内研究の再構築と実践 ○指導と評価の一体化の推進 ○言語活動の推進 ○家庭学習の習慣化をめざす指導 ○教育サポーターの効果的な配置</p>	<p>○わかりやすい授業を行うため年度当初に授業規律について教職員間で確認し、意識付けできた。 ○キャリア在り方生き方教育として、キャリアに学習内容の記録を残すことができた。 ○「主体的に学ぶ生徒を育成するために～主体的・対話的で深い学びを意識した授業作り～」を全教科の共通テーマとして、校内授業研究会を行い、研鑽を深めることができた。 ○教育活動サポーターによる支援サポートで学習支援を行ったが、支援のニーズと合致していない状況が一部に見られた。</p>	<p>・わかりやすい授業を展開していくために具体的な対策を提示していくようにしたい。 ・体験活動を通して自己肯定感を高め、学習意欲につなげていけるような働きかけをしたい。 ・行事などの活動では、事前事後の自分を振り返ったレポートをキャリアパスポートに記録していきたい。 ・教育サポーターによる支援を充実させるため、支援のニーズしっかりと把握した上で支援計画を立てて支援を実施できるようにしたい。</p>
2	<p>心の教育の推進</p> <p>○豊かな人間関係の構築を中心とした道徳教育の推進 ○いのち、こころの教育の推進 ○校内いじめ防止対策委員会の充実 ○情報の共有化と関係諸機関との連携推進 ○人間関係の改善・向上を図る共生教育の推進</p>	<p>○今年度は「言葉」を年間テーマとして道徳週間や日ごろの授業から多角的に指導することができた。また全校道徳「言葉のちから」の講演など外部の講師の方を招いた講演会も実施した。 ○主任会や、SC・養護教諭・CO・生担による情報交換を毎週実施した。心配な生徒の情報や問題行動・いじめの初期行動等の把握をすることができ、対応につなげることができた。 ○問題行動・いじめ問題について、職員間や保護者との情報共有を行っている。また、必要に応じて、行政機関や児童相談所などの他機関と継続的に連携を図り、情報を共有しながら、的確な指導に生かすことができた。</p>	<p>・教科書も変わり、道徳教育は特別な教科として年間授業日数も確保されているため、各学年で年間計画に準じた授業を展開できるように努力していきたい。 ・生徒間のからかいや悪口などを含めた、いじめ等につながる情報の共有が不十分だったことよって、初期対応が遅れるケースがあった。改めて、生徒指導研修会等で校内体制の見直しや確認等、継続的に行っていく必要がある。</p>

3	<p>規範意識と人権意識を高める指導の工夫</p>	<p>○あいさつ、ことばづかいなどの基本的な生活習慣の定着 ○生徒理解にもとづいた教育相談の展開</p>	<p>○生活委員会や生徒会本部が中心となった「あいさつ運動」を実施したが元気よくあいさつができる生徒が少なくなっている。また、遅刻者が増加した。 ○教育相談を年間で3回実施した(4月・8月・12月)。事前アンケートと年度末に生活アンケートを実施したうえで、生徒の家庭内の悩みや人間関係の問題等について相談を受け対応することができた。また、教育相談の実施によって、いじめ問題や問題行動に対して、迅速に対応することができた。</p>	<p>・基本的な生活習慣を身につけさせるために、学級活動や道徳教育とも連携させながら指導していきたい。 ・教育相談から発覚した諸問題に対して、担任中心に対応してきたが、担任だけでは解決できないケースもあったので、改めて学年や学校全体で組織として対応していきたい。</p>
4	<p>主体的に活動する能力の育成</p>	<p>○主体的に活動する生徒会活動の推進</p>	<p>○生徒会本部役員や各種専門委員長、部長、学級委員、班長をはじめとするリーダー生徒の育成に、普段の学校生活や学校行事を通じて継続的に取り組んだ。 ○学校行事や創立70周年記念式典など様々な場面で、生徒が主体的に活躍する姿が多く見られた。 ○代表委員会や生徒集会など、クロームブックを活用して、生徒が中心となって企画・運営することができた。</p>	<p>・リーダーの育成に関しては、価値づけを行い、やりがいを感じるように指導した。今後は、誰でもリーダーとなれるような学校生活を送れるようにしたい。 ・生徒が主体的な活動をできるように、教職員が協力して計画的かつ継続的に寄り添い、支援することが大切である。 ・引き続き、生徒が主体的に活動できる場面を意図的に作り、活動できるようにしていきたい。</p>
5	<p>特別支援教育体制の充実</p>	<p>○特別支援学級における一人ひとりのニーズの把握と自立活動の実践 ○支援教育における学校サポーターの活用と、学習室を利用する生徒への支援体制の構築。</p>	<p>○特別支援教育においては、保護者や生徒との面談などで連携を密に図り一人ひとりの実態に合わせた自立活動を実施することができた。 ○特別支援教育においては、生徒の身の周りの自立や社会生活を送る上での目標を設定し、自立活動の充実を図った。 ○支援教育において、各教科担当と連携を図り、学校サポーターの活用を要する教科への把握を行いながら、効果的に支援を実施することができた。 ○学習相談室の運用について、関係職員との連携を図るとともに、利用を考えている生徒や保護者との面談を実施し、円滑かつ計画的に運用を実施した。</p>	<p>・特別支援教育において、交流学級で学ぶ機会が多い生徒に対する、自立支援の充実を計画的に実施する。 ・小学校の特別支援学級との連携を図る中で、切れ目の無い特別支援教育の充実を図る。 ・特別支援学校やセンター的機能の活用などを行う中で専門的な見地からの支援法を得る。 ・学習室での学習をとおして、生徒が学級集団で学んだり、活動することに対して足が向くように支援を実施する。</p>

6	<p>健康指導と安全管理の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○健康や安全に対する関心・意欲の育成 ○健康診断の計画的な実施 ○計画的な食育の推進 ○給食を活用した食育の充実 ○性や薬物等の乱用に関する指導の充実 ○学校防災についての意識の啓発 ○防災教育の推進 ○避難訓練・防災訓練の計画的な実施 ○美化活動・緑化活動の計画的な推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○保健委員会による掲示や保健だよりを通じた啓発により、生徒の健康や安全に対する意識を高めることができた。 ○学校医と連携し、感染症対策に留意しながら計画的に健康診断を実施することができた。 ○外部講師を招いて食育講演会を実施することで、食事と健康に関する理解を深めることができた。 ○学校薬剤師と連携し、全校生徒を対象に薬物乱用防止講演会を実施することができた。 ○医療機関の受診を要する事故や怪我に対して、職員間で連携しながら対応することができた。 ○年間計画に基づき、災害や火災を想定した防災訓練を実施することができた。また昨年引き続き消防署の協力のもと、体験型の訓練を行うことで、生徒の防災意識の向上を図ることができた。 ○美化委員会の朝清掃を定着させ、落ち葉が多い時期についてはボランティアを募って活動を拡大させることで、生徒の美化意識を高めることができた。しかし、清掃活動が少ない時期などに、一部校内の汚れが目立つことがあった。 ○周年行事に合わせて、地域と協力しながら校内の緑化活動に取り組むことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健委員会や保健だよりなどを通じた健康と安全に対する啓発活動を推進し、引き続き生徒の意識を高めていく。 ・学校医との連携を継続し、計画的な健康診断の実施を図る。 ・事故発生時における職員間のスムーズな情報共有を徹底するなど、危機管理における組織体制を整える。 ・食育に関する講演会の実施を継続するとともに、全職員で共通理解のもとに給食指導や食育ができるよう計画的な健康教育を推進していく。 ・性や薬物乱用について、より効果的な指導方法や教材についての研究・実践を継続する。 ・引き続き外部機関と連携しながら体験的な防災訓練を計画し、生徒の防災意識向上を図る。合わせて、GIGA端末を活用した効果的な防災学習の研究と実践に努める。 ・清掃活動の実施方法や使用する用具を見直し、より良い校内環境を目指した美化活動の改善と推進を行う。 ・豊かな心グループと連携し、生徒主体の校内美化・緑化活動の計画、実践をすすめる。
7	<p>開かれた学校づくりの推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○学年・学校だよりの発行 ○学校ホームページの更新 ○学校運営協議会の計画的な運営 ○小中連携会議の定期的開催と連携事業の推進 ○地域の教育力の効果的な活用 ○学校評価の工夫・改善 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校ホームページの更新を月に1回定期的に行った。 ○学校だよりでは、校長や教頭に文章依頼し、節目での発行を継続的に行った。 ○地域祭礼行事、小田公園ボランティア、地域教育会議を通常通り実施した。 ○地域教育会議から学校運営協議会へ移行し2年目となり、年3回開催した。 ○地域と連携し、創立70周年記念式典を挙げた。 ○学区内小学校との連絡・情報交換をこまめにとり、中学校体験や新入生保護者説明会を実施した。 ○小中教員の授業参観を実施した。 ○学校評価のアンケートをオンラインで実施したことで回答率が上がった。また、結果を学校ホームページに掲載した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校からの情報発信において、学校ホームページや学校だよりを用いて、多様な情報をお知らせすることができたが、PTA活動についての発信を多くしてほしいと、学校評価を通して保護者からの意見を受け、今後PTA運営委員会で検討し、改善に繋げていく。 ・今年度は、創立70周年記念式典を実施した関係で地域行事(講座体験学習・PTAバザー)を実施しなかった。次年度は実施する予定である。

学校関係者の評価	学校運営のまとめ
<p>○授業の様子や行事での様子から、各学年の成長の度合いに合った落ちつき具合を感じた。</p> <p>○明るく中学生らしい生徒が多く、子どもらしさを身につけていると感じた。</p> <p>○70周年記念式典の生徒発表の内容は、とても素晴らしいと感じた。舞台での様子や合唱など良いものを見せてもらった。</p> <p>○廊下の生徒作品や掲示物を見ると、生徒たちの凄さを感じた。また、昔と違って英語の授業の展開の仕方に驚いた。</p> <p>○10年前くらいの頃は先生方もピリピリしていたが、最近では生徒と先生の距離感が良いと感じる。</p> <p>○朝のあいさつ運動は、少しずつ成果が出てきていると感じる。</p> <p>○地域の方へも挨拶ができるようになってきていると感じる。</p> <p>○地域の行事であるお神輿担ぎでは、長い歴史があり継続できていることに感謝している。来年度も楽しみである。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎基本の確実な定着を図るため、教職員全員で授業を参観し協議する校内授業研究会を今年度2回実施し、総合教育センターの指導主事を講師に招いて研修を行い、授業の工夫・改善に努めた。さらなる基礎学力の定着を図るために、夏季休業中や放課後の学習会の取組を進めるとともに、全国学力状況調査や川崎市学習状況調査の結果の分析を行い、より良い学習指導の方策を確立していきたい。 ・地域の事業所と連携して実施した職場体験学習や、川崎区役所と連携して実施した企業出前授業を実施し、体験学習や外部講師からの学びを充実させる形でキャリア生き方教育の推進を図ることができた。生徒の考えや意欲の深まりが見られ大きな効果を上げることができたので、次年度以降も継続して実施していきたい。 ・道徳の実践として、「言葉」について考えるを年間のテーマとして設定し、道徳習慣や全校道徳の取組を実施し、道徳教育の充実を図った。来年度もさらに充実した取り組みを行ってきたい。 ・生徒指導研修会を2回実施して生徒指導の方針への共通理解を深めたり、主任会を週1回実施して生徒の様子等についての情報交換を行い組織的な生徒指導の推進を図ることができた。来年度も、より迅速に情報共有が行えるように教職員の意識を高めていきたい。 ・不登校生徒や教室に入ること困難を感じる生徒の学習支援を行うために学習室を開設し、支援を実施することができた。教育委員会の協力を得て支援にあたる教職員を増やしたり、支援の時間を延ばしていくなど、支援体制のさらなる充実を図ってきたい。 ・創立70周年記念事業では、開かれた学校づくりの推進を図り、学校・家庭・地域が一体となって生徒の育成に取り組むことができた。今後も、地域に開かれた学校を目指し、積極的に情報発信をしていきたい。 ・学校運営協議会では、学校運営に関する建設的な意見をいただくことができた。さらなる発展拡充をはかっていきたい。